

このたびは当製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書の内容は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。以下の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

⚠ 警告 - 死亡や重大な事故の発生が想定される内容です-

- 変更・改造・分解はしないでください
事故、故障の原因となります。また、宅配ボックス以外の用途で使用しないでください。
- 商品の施工は施工要領書に従い確実に行ってください
事故、故障の原因となります。

⚠ 注意 - 軽傷や物的損害の発生が想定される内容です-

- 内・外装工事がある場合には、製品の養生を行ってください
リシン等の塗料、モルタルやコンクリートが付着しないように養生を行ってください。その際、製品には直接、養生テープ等のテープ類を貼らないでください。
- 施工時の汚れ落としは中性洗剤をご使用ください
シンナー、塩酸、アルコール等を使用すると腐食や塗膜の劣化につながるおそれがあります。
- 固いものを当てたり、強い衝撃を与えないでください
製品の外観不良や動作不良につながるおそれがあります。

■ 宅配ボックスの取り扱いについて ●同梱の取扱説明書をご参照ください。

■ 付属品について



本書



緩衝材：4



取付ビス：4



取扱説明書



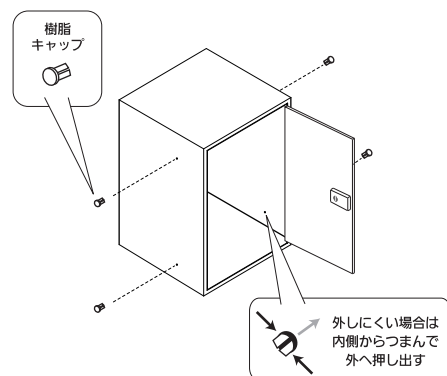
鍵：2

■ 施工方法について

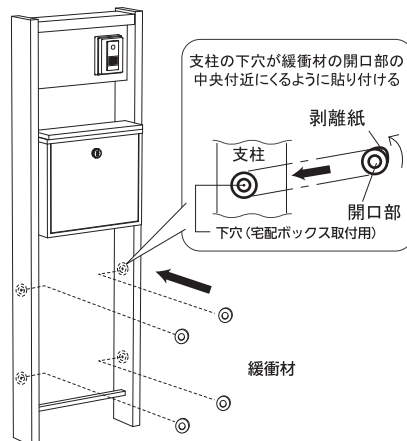
⚠ 注意

- 誤って施錠してしまうおそれがありますので、宅配ボックス内に鍵を入れたまま作業しないでください。
- 誤って製品を落下させたり、門柱およびポスト、壁面や床を傷つけない様、ご注意ください。
- 製品の扉に指を挟むなどケガをしない様、ご注意ください。

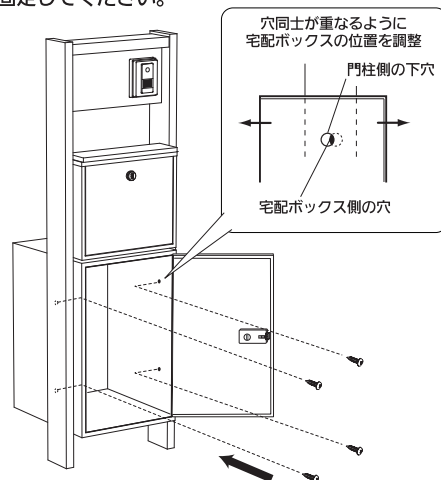
- ① 宅配ボックスの両側の樹脂キャップ4個を外してください。※外した樹脂キャップは使用しません。



- ② 門柱の柱内側に緩衝材(φ25)4枚(付属品)を図のように貼り付けてください。



- ③ 門柱の手前から宅配ボックスをゆっくりと挿入し、門柱側の下穴と宅配ボックス側の穴の位置を合わせ、内側から取付ビス(付属品)でしっかりと固定してください。



■ 施工後の確認

- 宅配ボックスがしっかりと固定されていること。取付ビスに緩みがないこと。 ● 宅配ボックスの扉の開閉や施錠/解錠正常に行えること。
- 宅配ボックスおよび門柱・ポストにキズ、へこみ、歪みがないこと。

お問い合わせ・ご意見は下記へご連絡ください。